

パンツの香り

夫婦の倦怠期は結婚生活の長さによって、必然的に訪れる現象です。

それは、夫婦関係のマンネリ化が作り出す現象です。

しかし、夫婦はその倦怠期をどんな方法で回避する事ができるのでしょうか？

多くの夫婦がそれを乗り越える手段として色々な方法を試した結果、たどり着く方法があります。

それは夫や妻の心の奥に閉ざされている、あるいは意識的に閉ざしている「特殊な感情、嗜好」を解放することです。

それぞれの夫婦には、それぞれの生活の中で隠し持った「男の秘密」「女の秘密」が必ずあるものです。

夫の嗜好

親友の美奈子が倦怠期を乗り越えようと計画したパンツイ作戦を聞いた依子は、自分たち夫婦にも何かいい解決方法が無いかと思案している毎日です。

今日も美奈子と一緒に行ったデパ地下でお茶をしながらご夫婦の事を詳しく聞き、微笑ましくもエロチックな内容にパンティを濡らしながら帰ってきたのです。

自宅に帰り着替えている時、今脱いだばかりの滲みの付いたパンティを手にした時、はッ！と気付いた事がありました。

それは夫の五郎が依子の洗濯前のパンティを洗濯籠の中から取り出して、クロッチを調べて匂いを嗅いでいる姿を何度か目にしたことでした。

自分の汚れた下着の匂いを夫に嗅がれる事は、妻として凄く恥ずかしく、それは変態行為だと思っ
ていますが、自分が出した分泌物の匂いで夫が興奮してると思うと、依子はしとどお股を濡らして
しまいうのです。

「今夜、このパンティで試してみようかしらッ!? 主人に見えるように置いて…!」

依子は倦怠期逃れに「パンツの香り作戦」を実行してみようと思いついたのです。

下着の匂い

依子自身、下着の汚れを点検する事はあつても匂いを嗅ぐ事はありませんが、毎日の洗濯時に夫の
パンツに顔をつけて匂いを嗅いだ事は何度もあります。

その匂いは夫の匂い、男の性の匂いがして、妻のとしての依子の感情を安心させる匂なのです。

その事は妻の秘密の一つです。

依子が着けたパンティのクロッチには、オシッコや女のおりものや時には便の滲みが付いているこ
ともあります。

その滲みの付いたクロッチを見るたびに、夫がこれを見て匂いを嗅ぐのかと思うと、女の秘密を見
られているようで、身体の芯が熱くなり、堪らなく恥ずかしくなります。

その思いに刺激されて、夫のパンツの匂いを嗅ぎながら右手を使い、依子はクロッチにくつきりと
陰唇の形を残すことになるのです。

その夜依子は、夫の五郎がお風呂に入る前、洗濯カゴの一番上にその日のパンティをそつと置い
ておきました。

キッチンで洗い物をしながらそれとなく見ていると、夫は依子の置いたパンティを手にとって裏
返し、鼻をつけ匂いを嗅ぎながら依子の方を窺っています。

依子は気がつかないふりをして、それとなく夫の方にお尻を突き出し、床に落ちたゴミを拾って見
せました。

依子の大きなお尻でタイトなスカートは伸びきり、パンティーラインがはっきりと見えたのでしよ

う。

夫は股間を握りながら、唾を飲み込んで風呂場に入って行きました。

主人の要求

その夜の寝室では、夫婦の営みが久しぶりに激しく行われました。

依子はお股を大きく開けられて、上から奥深く貫かれて何度も気が遠くなる思いでした。

二度目にはうつ伏せにされ、豊満なお尻の後ろから深々と貫かれました。

依子が夫の抽送に合わせてお尻を振るたびに平手で鞭を入れられ、その上剥き出しの肛門を弄られた時は、その恥ずかしさと被虐の快感に一際高い鳴き声を上げて喜悅したのです。

この夜の依子の“パンツの香り作戦”は、成功を収めました。抱かれた後で夫に要求された事がありました。

それは依子のパンティの検査です。

朝、目が覚めるとパンティを下げられ、クロッチの汚れや滲みを点検され、夜はその日に着けたパンティのクロッチを調べられます。

主人が仕事から帰ると、依子は玄関で夫にハグされ一緒に寝室に向かいます。

主人の着替が終わるとクロッチ調べが始まります。

依子をベッドに俯かせ、スカートを捲り依子はその日に選んで着けたパンティのクロッチの汚れ具合を調べられます。

「今日のレースのTバック！ いいね！ ここッ！ ぷっくりして可愛いよ依子！ オシッコの染み付いて湿ってるな？ クンッ！ クンッ！」

「あなた！ そんなこと、だめッ！ イヤッ！ ダメよ！ そんなに引つ張っちゃ！」

「ああんッ！」

Tバックの縦紐を引かれて陰唇に食い込み、依子はお尻を振って嫌々をしますが、主人はそれを楽しみながら湿ったTバックを膝まで降ろし、クロッチに付いた汚れを確かめて、べったり付いた女

のおりものがあると、その匂いを嗅ぎ、時には舌で味わってみるのです。

このクロッチのお調べは、夫婦二人だけの秘密になりました。

依子は主人の嗜好が恥ずかしくて変態だと思えますが、どんな夫婦にも何かの性の秘密があるものだど納得しています。

夫の五郎が自分に関心を持つてくれる事がただただ嬉しかったのです。

夫婦の秘密

それ以降、夫婦の関係は倦怠期を乗り越え、次第に濃密になっていきました。

夫婦二人が共有した性の秘密が、お互いの気持ちを伝えやすくしたようです。

ある朝のパンティのお調べの時、依子は甘い声で主人に呟きます。

「あなたア、今朝なんだか少し熱っぽいの！ どうしたのかしら…？」

「どれ！ 風邪でもひいたのか？ 熱どうだツ！ 計ってみようツ！」

主人はすぐに体温計を出して目の前の依子のお尻を開けて、肛門に差し入れ体温を計ります。

体温計が抜け落ちて何度か入れ直されながら肛門で検温される依子は、その甘く切ない羞恥に酔いながら、静かに陰唇を濡らしているのです。

これまでは恥ずかしくて言えなかった隠し事も、今では主人に素直に言えるようにもなりました。

「あなたア！ お便秘してて苦しいの！ ねえ、お浣腸してツ！」

夫五郎も気軽に応えてくれます。

「またか！ ほら！ お尻を上げて！ もつと脚開いて！ お前もう濡れてるよツ！ ほら！

浣腸するよツ！」

「ああん！ イヤ！ ウツ！ 恥ずかしいツ！ あなた！ アンツ」

イチジク浣腸の先が入り、ゆっくり潰されそして抜かれます。

主人に浣腸される恥ずかしさと肛門を刺激される快感に、

「アア！ あなた！ もつとお浣腸欲しいのツ！」

二つ目の浣腸を主人に求める依子の日常は、その思い付きが成功して大きく変わり、いつの間にか二人の間の倦怠感は消えてしまいました。

二つもの浣腸をねだった依子は、便意の迫る苦しきにお尻をふりふり鳴いてトイレをせがみ、夫の目を楽しませています。

「あなた！ もうダメ！ 我慢できないッ！ 許して！ お願い！ トイレッ！ あなたーッ！」
ぎりぎりまで我慢させられた依子は、夫にオムツを当てられて、女の排泄の恥ずかしさと被虐の甘さを十分に味あわされ、ぷつくりと膨れた陰唇をジユクジユクと濡らしてしまいました。

依子のふとした思い付きから始まった“パンツの香り作戦”の成功は、依子の妻としての日常にどのような変化をもたらすのでしょうか？

今夜もまた、情熱的に抱かれている依子は、夫にしがみついて喜悦しながら、

「アアッあなたー！ 大好きーッ！ 愛してるーッ！ もうダメーッ！ イイキマスーッ！
アアッて！ イクーッ！」

夫に愛されながら夫婦の愛情の本質とは何なのか、依子にはそれが少し見えた様に思えたのです。

<https://www.spacegirla.com/>
SPACE 銀河